

AIST-IDEA

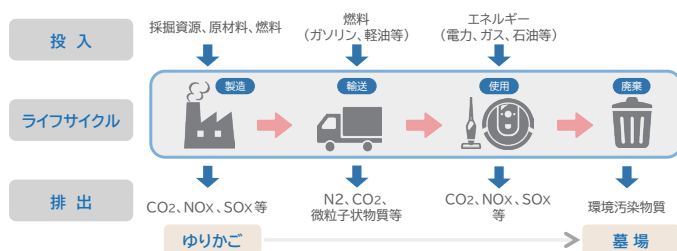
温室効果ガス(GHG)排出量が見えるデータベース



持続可能な未来へ
AIST-IDEAで
確かなサポートを

～LCA:製品の「ゆりかごから墓場まで」～

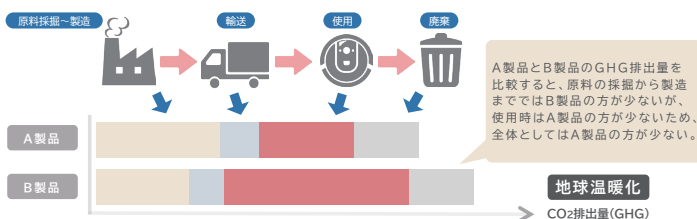
ライフサイクルアセスメント(LCA)は、製品が作られる過程から使われる過程、廃棄される過程に至るまでの過程(ゆりかごから墓場まで)のなかで、資源の使用やエネルギー消費などによる環境負荷(CO₂、NO_x等のGHG排出量)がどの程度であるかを評価、分析する手法です。



LCAを実施する目的とは?

ゆりかごから墓場までのプロセスのなかで、どのプロセスが最も環境に悪い影響を与えているかを見つけるため、LCAを行います。

- ▶ 環境負荷を減らすための改善策を考案するのに役立ちます
- ▶ この評価を通じて、自社の製品が環境に配慮していることを証明できます



世界最大規模
5,250
データセット
(最新Ver. 3.4)

日本国内産業
ほぼ全て
国内のほぼ全ての
経済活動をカバー

Scope3
対応
算定に必要な排出原
単位データを提供

AIST-IDEA が環境負荷量の算定を強力にサポート

- ▶ 日本国内のほぼ全ての経済活動をカバー
- ▶ 日本標準産業分類と工業統計調査用商品分類に基づくコード体系を採用
- ▶ 各データは日本の平均的な製造方法やサービス統計をベースに作成
- ▶ 統計・文献データ等を基に開発し、データベースは毎年更新
- ▶ 各データの出典情報を明記して透明性を確保

Scope3 への活用

企業活動が社会へ与える影響の見える化を実現。
年間のGHG排出量をサプライチェーンを含めて集計します。

サプライチェーン排出量 = Scope1 + Scope2 + Scope3



- Scope 1 事業者自らによる温室効果ガスの直接排出(燃料の燃焼、工業プロセス)
- Scope 2 他社から供給された電気、熱・蒸気の使用に伴う間接排出
- Scope 3 Scope1、Scope2以外の間接排出(事業者の活動に関連する他社の排出)



株式会社AIST Solutionsホームページ

問合せ先: <https://www.aist-solutions.co.jp/contact/form.html>



産総研グループ | AIST GROUP